

—学—会—記—事—

◎昭和 46 年度第 3 回理事会議事録
(46.8.27) 出席者：高野会長、石川、奥村、篠原の各副会長、下村専務理事、足立、荒木、岩垣、尾崎、岡田、金子、竹内、難波、長谷川、細井、村田の各理事、横田監事。議事録署名理事の決定：高野会長、下村専務理事、岡田理事。

A. 報告事項：下村専務理事より次の各項につき報告があった；1)会計報告。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会報告。4)会務担当理事会報告；昭和 46 年 8 月 24 日（火）開催の会務担当（経理、編集出版）理事会の議事概要および審議経過のうち「在庫書籍の一部の廃棄処分について」は、当該書籍が落丁、汚損、旧版である等の理由で売れる見込みのないものであることから、適当な方法で処分することを了承された旨を報告し、その他の議題については、議事の議題と重複するため、議事審議の際に報告することとして了承。B. 協議事項：1) 開発途上国に対する土木技術協力の強化および促進に関する提言について；本件は、建設コンサルタント委員会猪瀬委員長から会長あてに提出したものであることから、同委員長の出席を求め、その説明を受けた。同委員長から、この提言は委員会でまとめたものであり、会長あて提出に際しては海外活動委員会でも協議したものである旨の内容および経過について説明があった後、横田監事（同委員会委員兼幹事長）が提言を朗読し、審議した結果、特に会長から内容的には了解できるが、表現については土木学会の立場を考慮して再検討されたい旨の発言があり、同委員会が海外活動委員会と再協議のうえ文案を練り直すことになった。2) 土木学会諸規定の一部改正について；下村専務理事の概略説明後、事務局より原案朗読のうえ説明を行なったが、土木学会委員会規程および土木学会委託研究取扱規程とともにミスプリントを訂正のうえ、それぞれ承認。3) 原子力土木委員会賛助金の受入れについて；異議なく承認。4) 論文報告集刊行の経費増について；下村専務理事から資料に基づいて赤字増の説明があり、また高野会長から 8 月 24 日開催の会務担当理事会における審議状況についての補足説明と、同理事会における前田論文集編集委員会委員長の来年度以降については善処したいとの説明に期待

し、本年度はなるべく経費を節約する方向で進むことにして経費増を認めることにしたい旨の発言があり、異議なく承認。なお、高野会長から、日本道路協会の例を引いて、広告収入を増やすことを研究したいとの発言があった。5) 学会発行書籍の販売方法の変更について；下村専務理事から説明があり、種々論議されたが、原案どおり承認。6) 土木年鑑編集委員会の廃止について；下村専務理事から説明があり、春日屋土木年鑑編集委員会委員長の申請どおり土木年鑑の廃刊に伴う委員会の廃止を承認。7) 土木構造物の耐震研究促進と震害防止に関する要望について；下村専務理事から概略説明があり、統いて久保耐震工学委員会副委員長の出席を求めて、その説明を受けた後、内容に都市構造的な問題等を幅広く取り入れるかどうかについて種々論議されたが、一部を修正のうえ、政府ならびに関係団体へ提出することに決定。8) その他；①会員入退会について、②次の理事会について、③土木学会賞各委員会の構成案について；高野会長から、昭和 46 年度の表彰委員会および論文賞選考委員会の構成員のうち、理事から委員に選出されるものを次のとおり推薦指名することを提案、異議なく了承。

表彰委員会

資格 氏名

会長 高野 務 指定

副会长 石川 豊 同

〃 奥村 敏喜 同

〃 河上 房義 同

〃 篠原 謙爾 同

理事 吉川 秀夫 推薦指名（留任）

〃 三浦 孝雄 同 （〃）

〃 半谷 哲夫 同 （新任）

論文賞選考委員会

資格 氏名

理事 井上 孝 推薦指名（留任）

〃 後藤 尚男 同 （新任）

なお、次回理事会に構成一覧表を提出することになった。9) 委員の委嘱について

① 昭和 46 年度論文集編集委員会

委員長 前田 幸雄 大阪大学

副委員長 久野 悟郎 中央大学

第 1 部 門主査 伊藤 学 東京大学

第 2 部 室田 明 大阪大学

第 3 部 久野 悟郎 中央大学

第 4 部 新谷 洋二 東京大学

第 5 部 岩間 滋 道路公团

委員 青柳 史郎 長大構設計センター

青柳 征夫 電力中央研究所

池田 剛治 都立大学

石橋 納 電力中央研究所

茨木 龍雄 中央大学

福吉 正敬 建設省

稻葉 誠一 建設省土木研究所

今岡 正美 山梨大学

委員	岩崎 敏男	建設省土木研究所
遠田	良喜	石川島播磨重工
宇井	純	東京大学
上田	勝基	間組
小川	裕章	建設省
岡村	甫	東京大学
大河原	満	建設省
荻原	国宏	東洋大学
加来	照俊	北海道大学
柿崎	博雄	道路公团
川口	昌宏	日本大学
金子	光美	公衆衛生院
工藤	和男	運輸省港湾技研
倉島	収	建設省
小村	敏	首都公團
小池	尉夫	東京都土木研究所
駒田	敬一	建設省
合田	良実	運輸省港湾技研
沢口	正俊	同
佐藤	教久	東北大学
齐田	登	建設省建築研究所
椎貝	博美	東京工業大学
清水	英治	千葉工業大学
須賀	堯三	建設省土木研究所
鈴木	康弘	桜田機械工業
高尾	孝二	新日本技術
高木	不折	名古屋大学
高松	良晴	國鉄
土岐	高史	竹中工務店
中村	英夫	東京工業大学
中村	良夫	東京大学
中山	紀男	日本セメント
長坂	晋美夫	東京電力
長滝	重義	東京工業大学
永井	靖郎	建設省土木研究所
波木	守	ユニック
波田	凱夫	神戸製鋼所
成田	信之	建設省土木研究所
松井	正弘	道路公团試験所
松浦	章夫	國鉄
伯野	元彦	東京大学
宮原	玄	早稲田大学
森	康男	道路公团
森野	亮宏	國鉄
守屋	重孝	大成建設
安山	信雄	愛媛大学
安田	正幸	電力中央研究所
山内	豊聰	九州大学
吉中龍	之進	埼玉大学
吉田	裕	東京工業大学
和田	明	電力中央研究所
渡辺	啓行	同
② 昭和 46 年度海外活動委員会		
委員長	太田尾広治	学識経験者
副委員長	吉越 盛次	学識経験者
委員	池原武一郎	國鉄
	井上 孝	東京大学
	生出 久也	建設業委員会
	竹内 良夫	運輸省
	志村 卓也	同
	羽田 嶽	前土木学会専務理事
	伴 正一	外務省
	平井 敦	学識経験者
	山本 純	農林省
	水野 昭	建設省
	新家 義雄	海外技術協力事業団
	橋本 敏男	建設コンサルタント委員会
	吉田 方明	通産省
	渡辺 宏	電源開発

幹事長	赤木 俊允	東洋大学
幹 事	飯島 滋	通産省
美藤 恭久	国 鉄	
得丸 正哉	海外技術協力事業団	
鈴木 福実	外務省	
泉 信也	運輸省	
武田 清	農林省	
高市 守	電源開発	
杉田 美昭	道路公團	
北村 翁夫	大成建設	
③ 海外活動委員会	海外工事契約仕様書研究会	
主査	吉越 盛次	学識経験者
副主査	水野 昭	建設省
横山 義雄	大林組	
幹 事	赤木 俊允	東洋大学
美藤 恭久	国 鉄	
得丸 正哉	海外技術協力事業団	
泉 信也	運輸省	
北村 翁夫	大成建設	
鈴木 志郎	電源開発	
小山 貞夫	同	
	徳岡 邦	鹿島建設
④ 土木計画学研究委員会		
委員長	米谷 栄二	京都大学

◎各種委員会

(1) プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会設計・施工・支持力合同分科会(46.7.12)出席者: 関係者 15 名。議事: 大径 P C くいの施工法と支持力に関する研究報告。

(2) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会鋼材分科会(46.7.12)出席者: 関係者 16 名。議事: 鋼上部構造用鋼板に関する調査研究方針の検討。

(3) 第1回海洋開発委員会(46.7.13)出席者: 本間委員長, ほか 24 名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 報告事項; ① ECOR 国内委員会の件, ② 鋼材クラブ委託研究の件。3) 今年度委員会活動。

(4) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会打合会(46.7.13)出席者: 伊吹山副委員長, ほか 4 名。議事: 沈埋トンネル耐震設計研究委員会発足にあたり打合せを行なった。

(5) 第1回沈埋トンネル耐震設計研究委員会(46.7.13)出席者: 伊吹山副委員長, ほか 20 名。議事: 1) 耐震工学委員会代表久保委員挨拶。2) 委託者側挨拶。3) 委員自己紹介。4) 研究方針の審議。

(6) 会誌編集小委員会(46.7.13)出席者: 千秋委員長, 股部幹事長, ほか 12 名。議事: 1) 経過報告。2) 会誌 56巻 11号の編集。3) 会誌 57巻 1号特集協議。4) その他。

(7) 原子力土木委員会廃棄物部会(46.7.14)出席者: 左合部会長, ほか 14 名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 研究予算について。3) 今後の研究計画。

(8) 岩盤力学委員会第1分科会グラウト班打合会(46.7.14)出席者: 関係者 8 名。議事: 1) 経過報告。2) ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針(案)(第3次案)の検討。

(9) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計・施工合同分科会(46.7.14)出席者: 河野副委員長, 猪股, 樋口の両主査, ほか 14 名。議事: プレストレストコンクリート標準示方書(案)の審議。

(10) 岩盤力学委員会第3分科会(第10回)(46.8.14)出席者: 関係者 5 名。議事: 1) 現地岩盤試験資料のとりまとめ。2) 第7回岩盤力学に関するシンポジウム開催について。

(11) 会誌編集委員会書評小委員会(46.7.14)出席者: 堀江委員長, ほか 7 名。議事: 1) 経過報告。2) 受付図書審査。3) 未収図書協議。4) 学会誌 56巻 8号登載書評協議。5) その他。

(12) 行事企画委員会幹事会(46.7.15)出席者: 森委員長, 嶋副委員長, ほか 4 名。議事: 1) 委員会内規について。2) 運営方針について。

(13) 岩盤力学委員会第3分科会打合会(46.7.15)出席者: 関係者 4 名。議事: 現地岩盤試験資料のとりまとめ。

(14) 海岸工学委員会在京幹事会(46.7.15)出席者: 堀川幹事長, ほか 6 名。議事: 第 18 回海岸工学講演会論文集業界案内欄掲載に伴う掲載依頼先リストの作成および依頼文書の作成を行なった。

(15) 会誌編集委員会執筆打合会(46.7.15)出席者: 関係者 10 名。議事: 1) 編集経過報告。2) 執筆内容協議。3) 執筆依頼。4) その他。

(16) 橋梁年報編集小委員会(46.7.16)出席者: 阿部委員長, ほか 2 名。議事: 1970~1971「橋」編集打合せ。

(17) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第3回幹事会(46.8.16)出席者: 大久保委員長, ほか 9 名。議事: 小委員会提案事項・提出資料の検討。

(18) 衛生工学委員会幹事会(46.7.16)出席者: 関係者 6 名。議事: 1) 下水道工学の教育現況。2) ウエバー氏講演会。

(19) 岩盤力学委員会第3分科会打合会(46.7.16)出席者: 関係者 4 名。議事: 現地岩盤試験資料のとりまとめ。

(20) 海外活動委員会海外工事契約示様書研究会(46.7.16)出席者: 吉越主査, ほか 25 名。議事: 1) 海外工事契約示様書研究会について説明。2) 運営要項(案)について。3) 今後の予定。

(21) 青函トンネル土圧研究委員会小委員会(第2回)(46.7.17)出席者: 関係者 11 名。議事: 青函トンネルの覆工の設計について検討した。

(22) 視聴覚教育委員会第4小委員会(教材製作)(46.7.17)出席者: 佐藤主査, ほか 3 名。議事: スライド作成について打合せを行なった。

(23) 耐震工学委員会第2回常任委員会(研究会)(46.7.19)出席者: 岡本委員長, ほか 18 名。議事: 1) 第 11 回地震工学研究発表会について。2) 本州四国連絡橋耐震合同研究会について。3) 今後の委員会, 研究会活動について。4) 地震工学文献目録について。5) “土木技術者のための振動便覧(出版物)”について。6) 研究会; “秋田県南東部地震の被害調査の報告”東北工大 浅田常任委員, 東北大 森氏。

(24) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会打合会(46.7.19)出席者: 関係者 13 名。議事: 1) 45 年度調査結果の報告。2) 46 年度調査の目的。3) 委員および幹事の選出。4) 調査の具体的方針; ①調査項目, ②調査方法および分担。

(25) 欧文論文集編集小委員会(46.7.20)出席者: 林主査, ほか 3 名。議事: 欧文論文集 Vol. 3, Part 1 のフォーム, その他につき協議した。

(26) 海洋構造物に関する調査研究委員会(46.7.21)出席者: 村上委員長, ほか 21 名。議事: 1) 三菱重工における海洋開発関連事業の現況について 講演 有田委員。2) 新日鉄における海洋開発関連事業の現況について 講演 大浜・加藤の両氏。3) 映画。4) 海洋構造物設計指針目次(案)について。5) 委員会の運営について。

(27) 論文集編集委員会第1小委員会(46.7.21)出席者: 伊藤主査, ほか 11 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(28) 論文集編集委員会第4小委員会(46.7.22)出席者: 新谷主査, ほか 3 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(29) 論文集編集委員会第5小委員会(46.7.22)出席者: 岩間主査, ほか 5 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(30) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会現地視察(幹事会)(46.7.22)出席者: 大久保委員長, ほか 7 名。議事: 実

験橋候補地を視察した。

(31) “土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会幹事打合会(46.7.23)
出席者：関係者6名。議事：第1次原案につき検討した。

(32) 論文集編集委員会第3小委員会(46.7.23)出席者：久野主査、ほか5名。議事：1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿について。4)主査幹事会報告。5)その他。

(33) PC工法小委員会SEEE工法(46.7.26)出席者：国分委員長、河野主査、ほか23名。議事：SEEE工法設計施工指針の逐条審議を行なった。

(34) 第4回建設コンサルタント委員会(46.7.27)出席者：猪瀬委員長、ほか14名。議事：1)建設コンサルタントの海外進出促進方策について。2)委員および幹事の交替について。

(35) 論文集編集委員会第2小委員会(46.7.28)出席者：室田主査、ほか9名。議事：1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿について。4)主査幹事会報告。5)その他。

(36) 論文集編集委員会主査幹事会(46.7.28)出席者：前田委員長、久野副委員長、伊藤、室田、新谷、岩間、林の各主査、ほか6名。議事：1)前回議事録の確認。2)各小委員会報告。3)論文報告集第194号登載原稿について。4)欧文論文集について。5)その他。

(37) 行事企画委員会幹事会(46.7.29)出席者：森委員長、嶋副委員長、ほか3名。議事：1)内規の検討。2)行事の企画について。

(38) 海外活動委員会(46.7.29)出席者：太田尾委員長、吉越副委員長、ほか12名。議事：1)委員長あいさつ。2)委員紹介。3)内規説明。4)海外工事契約仕様書研究会について。5)46年度の活動について。

(39) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合会(第15回)(46.7.30)出席者：関係者4名。議事：地質調査に関する解説書原稿の検討。

(40) 環境問題小委員会幹事会(46.7.31)出席者：松本委員長、南部副委員長、ほか7名。議事：1)委員追加の件。2)調査研究の現況について。

(41) 土木計画学研究委員会幹事打合会(46.7.31)出席者：長尾幹事長、ほか6名。議事：1)全国大会の研究討論会のすすめ方について協議。2)第6回土木計画学シンポジウムの件協議。

(42) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第2回)(46.8.2.)

出席者：関係者8名。議事：塗装仕様案の作成について。

(43) 会誌編集委員会幹事会(46.8.3)出席者：千秋委員長、服部幹事長、ほか5名。議事：1)経過報告。2)57巻第1号特集の件。3)次回シリーズの件。4)次回講座の件。5)大会関連記事取扱の件。6)増刊号発刊の件。7)その他。

(44) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第2グループ打合会(46.8.4)出席者：久保委員長、後藤主査、ほか13名。議事：研究活動のテーマ、研究方法等の検討。

(45) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第3グループ打合会(46.8.4)出席者：久保委員長、栗林主査、ほか10名。議事：研究活動のテーマ、研究方法等の検討。

(46) 文献調査委員会(46.8.5)出席者：小林委員長、ほか7名。議事：1)会誌56巻10号登載抄録。2)紹介記事の件。3)解説記事の件。4)委員会活動。

(47) 海外活動委員会海外工事契約示様書研究会(46.8.6)出席者：太田尾委員長、吉越主査、ほか29名。議事：第1章1~2の解説について。

(48) 第1回安全問題研究委員会(46.8.6)出席者：丸安委員長、ほか14名。議事：1)経過報告。2)委員長あいさつ。3)自己紹介。4)運営内規について。5)委員会の運営推進について。

(49) 会誌編集委員会打合会(46.8.8)出席者：関係者5名。議事：1)学会誌57巻連載講座につき協議；①内容・水準等、②目次構成および執筆予定者等、③執筆方針等。2)内容は“数値解析法”を主体とすること。

(50) 水理委員会第2回移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会(46.8.9)出席者：林委員長、岸、芦田の両主査、ほか11名。議事：「移動床流れの粗度と河床形状」の研究原稿の説明。

(51) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会座屈分科会(第1回)(46.8.9)出席者：関係者17名。議事：1)タワー耐力についての実験研究報告。2)タワー耐力検算方式の検討。

(52) 水理委員会第3回移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会(46.8.10)出席者：林委員長、岸、芦田の両主査、ほか12名。議事：移動床流れの粗度と河床形状の第2原案作成のため「移動床の粗度」と「移動床の流れの抵抗」の2つのグループに分かれ検討を行なった。

◎その他の

(1) 第11回地盤工学研究発表会(46.7.20)

場所：土木図書館講堂

参加者：240名

講演題数：36題（内特別講演1、研究会報告1）

懇談会（7月20日）：参加者22名

(2) 第7回水工学に関する夏期研修会(46.7.21~29間の8日間)

場所：中国電力(株)総会室(広島市)

参加者：Aコース126名

Bコース123名

講演題数：Aコース10題

Bコース10題

支部だより

◎関西支部

(1) 庶務担当幹事会(第2回)(46.8.6、土木学会関西支部)出席者：後藤幹事長、ほか4名。

(2) 企画担当幹事会(第2回)(46.8.6、土木学会関西支部)出席者：後藤幹事長、ほか5名。

(3) 計画担当幹事会(第3回)(46.8.25、土木学会関西支部)出席者：田中支部長、後藤幹事長、ほか15名。

(4) 第3回幹事会(46.8.25、大阪市開発公社)出席者：田中支部長、後藤幹事長、ほか14名。

(5) 事務所運営委員会(第3回)(46.8.19、土木学会関西支部)出席者：土木学会、土質工学会より関係者6名。

(6) 第63回騒音振動委員会(46.8.24、土木学会関西支部)出席者：関係者11名。

(7) 騒音振動委員会幹事会(第60回)(46.8.24、土木学会関西支部)出席者：関係者4名。

◎西部支部

(1) 夏期講習会(46.8.27)

会場：大分県九重ハーランドホテル

講演：8名

参加者：199名

(2) 見学会(46.8.27)

A班 新熊本空港・熊本自動車道

参加者：89名

B班 新日鉄大分製鉄所

参加者：45名

(3) 映写会(46.8.26)

会場：九重ハーランドホテル

映画：3巻

参加者：80名